

令和2年度事業報告について

1. 概要

今年度、新型コロナウイルスが猛威を振るい我が国においても社会・経済に大きな影響が及んでいます。当然、シルバー人材センターにおいても組織の運営を始め、様々な事業が縮小、あるいは中止へと追いやられています。

一方、景気対策として「GOTOトラベル」など、国の打ち出す緊急策が要因か、感染拡大の予兆がみられ、「8月の第2波」さらに「11月の第3波」が日本列島を飲み込み、特に都市部には緊急事態宣言が出されるなど、経済はもちろん生活環境も混迷を極めていきます。

当センターでも感染対策としてマスクの着用はもちろん、外出の自粛や人の集まる場所での三密回避を心掛けるよう会員同士が声掛けを実施しています。一日も早くウイルス感染症が終息し、日常の生活が戻って欲しいと願っているところです。

そうした中、シルバー人材センターが掲げている「会員100万人達成計画」に基づき、会員の拡大はもちろん、就労機会の実現に向けた様々な取組を行ってきました。また、シルバー人材センター事業に関する補助金は、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業等」に対して手厚く、人件費や管理費と言った組織を運営する費用は年々先細りとなっています。

このような状況の中、行政をはじめ各関係機関、地域住民のみなさまの深いご理解、ご協力をいただき、令和2年度も、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと会員皆様方の協力と支援をいただきながら、シルバーの根源である「請負・委任事業」や「派遣事業」さらに、町が主体の地域支援事業を受託し、取り組んだ「介護予防・日常生活総合事業」を含めたシルバー事業の推進に努めて参りました。

その結果、請負・委任事業の契約金は前年度の実績を上回ることが出来ましたが、介護予防・日常生活総合事業の利用回数の減少が響き、受注件数、就業延人員はともに前年度に比べ減少しました。

一方、派遣事業においても契約金、就業延人員は前年度より小幅ながらも増加しましたが、受注件数は前年度と同様にとどまりました。

そして、大きな目標としていた会員拡大が果たせず、昨年度を下回る大変残念な結果となりましたが、シルバー里庄の発行、会員募集チラシの配布により普及啓発に努力しています。

また、安全・適正就業を推し進めるため、安全パトロール、意見交換などで、安全で安心して働ける環境づくりに取り組むことで事故防止の徹底を図りました。その甲斐あって、事故「ゼロ」で就業することができました。これも会員皆様の安全に対する意識の高さだと思っています。今後とも、無事故で就業が推進できるよう努力して参ります。

以下、事業の実績と実施状況について報告します。

2. 事業実績

項目		令和2年度	令和元年度	前年対比	
会員数(人)		137	140	98%	
請負・委任事業	就業延人員(人日)	8,924	9,277	96%	
	受注件数(件)	855	792	117%	
	契約金(円)	24,811,224	24,528,700	101%	
	公 共 民 間 別 間	公 共	12,442,219	12,185,881	102%
		民 間	3,345,339	3,428,322	98%
		企業 個人	9,023,666	8,914,497	101%
	配分金額(円)	19,629,781	19,351,376	101%	
	内 新 総 合 事 業	登録会員(人)	16	16	100%
		就業延人員(人日)	1,232	1,568	79%
		受注件数(件)	13	12	108%
契約金(円)		308,000	392,000	79%	
配分金額(円)		277,200	352,800	79%	
人材派遣事業	登録会員(人)	18	18	100%	
	就業延人員(人日)	2,484	2,431	102%	
	契約件数(件)	4	4	100%	
	契約金(円)	8,792,112	8,356,185	105%	
	支払賃金(円)	7,122,910	6,904,730	103%	
契約金総額(円)		33,603,336	32,883,994	102%	

* 請負・委任事業の実績数値には新総合事業の実績数値を含む。

3. 事業実施状況

1 普及啓発活動の推進

シルバー事業の理念を地域に広く周知し、事業の発展・拡大を図るため、あらゆる機会をとらえて普及活動を実施しました。

(1) 公共機関等を活用した普及啓発

コロナ禍により地域の催物が相次ぎ中止されPR活動もままならない状況ではありましたが、シルバーで作成した広報誌・チラシなどを活用して普及啓発を図りました。

(2) 地域社会への貢献

シルバー事業の活動基盤とする地域社会への貢献の一環として、歴史民俗資料館の周囲の剪定及び清掃など奉仕活動を実施することで普及啓発にも取り組みました。

2 会員拡大の推進

(1) 新規会員の獲得を推進するため、機会あるごとに「会員による1人1会員入会活動の実施」や広報誌・チラシなどを活用し会員拡大を呼びかけました。

(2) シルバー人材センターに魅力を感じていただけるような組織づくりを目的に役職員が創意・工夫を重ね、興味の持てる組織を創作することで退会者の抑制に努めました。

3 安全・適正就業の推進

(1) 会員の就業中または就業途上での事故防止と適正な就業を図るため、安全管理委員会による現場パトロールを行いました。

(2) 適正就業

「安全就業マニュアル・安全就業基準」に基づき、駐車場など公共的就業場所での長期継続就業の解消やローテーション就業の促進により就業率の向上に努めました。

4 就業機会の開拓・提供業務の推進

会員の多様な就業ニーズに応えるため、また、一人でも多くの会員が就業の機会を得られるよう、シルバー事業のPRを行うとともに、受注の拡大に努めました。

5 適正なセンター運営の推進

センターの効率的な組織の運営や経費の見直しによる財源の確保などを目的とした調査・検討会を持つことで経営基盤の充実・強化を図りました。

また、研修会などを開催し、会員同士の交流と会員相互の連帯意識の高揚を図るなど、組織の活性化と自主的な運営体制の確立に取り組みました。